



日本福祉文化学会関東ブロック研究交流会

「認知症高齢者のひとり暮らし はどこまで可能か？」

—実践例をとおして方法と問題を考える—

話題提供者：田中 綾子さん

期日：8月4日（土）13：00～16：00

場所：立教大学池袋校舎 7号館7201

会費：無料

年々、高齢者のひとり暮らしや認知症になる高齢者が増加の傾向にあります。しかし認知症に対する理解や支援方法は十分とはいえませんし、家族や施設での支援にも限界があり、悲惨な実態も報告されています。そこで、認知症を発症した94歳の母親を8年間、独自の方法で一人暮らしをさせながら支援している田中さん（60代）をお迎えして、日々の実践をお話いただくことにしました。

認知症は少しずつ進んでいきます。加齢による変化もあります。田中さんは母親の行動や心理状態を細かく観察して記録し、その都度、支援体制や方法を考えて福祉施設（デイサービス）の職員たちと話し合い、身体面の変化は医師に確認し、変化する心身の状態に適応した支援方法を模索しながら介護しているのです。その対応はきめ細かくとも自分の生き方を犠牲にしているわけではなく、田中さんは音楽・映画鑑賞に、旅や登山にと出かけています。当事者本人がその人らしく老いていくことを大事にするこの介護方法は、現在、家族介護をしている方にも、施設職員や研究者にとっても参考になるでしょう。他のひとり暮らしも紹介します。

これからは当事者がその人らしく生きるために、けれども介護者は自分の人生を犠牲にしないで、支援するために、その方法と問題点をみなさんと話し合ってみませんか。

日本福祉文化学会事務局 TEL&FAX 03-5942-8510

URL <http://www.fukushibunka.gr.jp> E-mail fukushibunka@lagoon.ocn.ne.jp